

## 自分の未来を切り拓く②～考える習慣～

校長 水戸 巖

今月の全校朝会では、先月に続き、「自分の未来を自分で切り拓くためにあなたはどんな取組をしますか？」について話をしました。

2014年、オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーン准教授が発表した論文が世界中に衝撃を与えました。例えば、次のようなことを述べておられます。

- 今後10～20年程度で、米国の47%の仕事が自動化される可能性が高い
- 2011年に米国の小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就くだろう

経済社会の変化が激しく、将来予測が困難と言われる情勢の中、今の子どもたちに求められる力として言われていることは、「A1ではまかなえない力・人間が優位性をもつ力」です。例えば、「思考力・判断力・表現力」「創造力・想像力」「感性・思いやり」「多様性を受容する力」等々です。

この中から、「思考力・判断力」にスポットをあててみました。

クイズ王で知られる伊沢拓司さんは、小学生の頃、すしを食べる姿を見て「料理を食べる時、日本では箸を使わないとマナー違反になるのに、なぜ寿司は手で食べてもマナー違反にならないのだろう」と疑問に思い、寿司のルーツも含め、調べてみたそうです。

このように身近なところに学習のネタはころがっており、疑問をもち、調べてみるのが思考力・判断力を鍛え、知識の習得につながるのではないのでしょうか。

私の例も紹介してみました。

(例1) 陸上の北信越大会に生徒の応援に行きました。女子100mHの予選です。

1組8人で走るのですが、1コースを使わず、2～9コースを使って競技をしていました。なぜ、1コースを使わないのでしょうか。

(例2) 近所のドラッグストアです。500mlのあるミネラルウォーターが78円で売られています。そして同じミネラルウォーターの2ℓサイズも78円で売られています。なぜでしょうか？

(ちなみに数年前、500mlが88円、2ℓが75円で売られていることがありました。)

西中の皆さんにも、身の回りのことに関心を寄せ、考える、そして主体的に調べてみるという習慣を身に付けてほしいと思っています。そういった習慣づけが未来を切り拓いていく力につながっていくのだと思います。

### GIGAスクール元年

GIGAスクール構想とは、1人1台の端末等の整備をベースとして、これからの時代を生きる子どもたちのために「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる施策です。当初、2023年度までの整備を掲げていましたが、前倒しされ今年度からスタートです。

西中では、現在、技術の授業の一環として時間を使って初期設定等を進めています。



# かっぱの姿を ～中越地区大会激励会～



6月9日に中越地区大会に向けた激励会を実施しました。

これまで培ってきた力を存分に発揮し、かっぱの姿を披露してくれることを期待しています。

大会運営に際し、競技や会場により入場制限などが設けられています。詳細は各部顧問からの参加計画や連絡をご確認いただければと思います。

## 6月はいじめ見逃しゼロ強調月間です！

6月は、県の取組として「いじめ見逃しゼロ強調月間」となります。6月は、統計的にも気候やホルモンバランスの関係からいじめが発生しやすい時期となっています。学校においてもこのことを意識した学年や学級の運営をし、日々の啓発や心の耕しを行って参ります。

6月1日には、校長メッセージとして右の資料を生徒に配付しました。また、全校朝会では、新潟県では「ズボン下ろし」について、いじめ・暴力として扱うことについて話をしました。過去の痛ましい事件が発生したことも要因となっています。

ご家庭で気になる様子がありましたら、学級担任等、連絡いただければと思います。

校長先生からのメッセージ R3. 6. 1

### 6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間です！

6月と10月は、新潟県で「いじめ見逃しゼロ強調月間」としています。なぜ、6月や10月なのでしょう。

脳科学者の中野信子さんなどの研究によると、5～6月や10～11月は、ホルモンのバランスがくずれやすい、気候の影響、疲れがたまりやすいなどにより、不安になりやすかったり、気持ちが落ち込みやすくなったり、攻撃的になりやすかったりするのだそうです。こういった科学的な研究の成果や実際のいじめの発生数からも、この時期は、いじめが発生しやすい時期と言われており、そのことが関係しているのかもしれない。

中野信子さんは、こうした季節と脳のメカニズムを知っておけば、ふと落ち込んだときも少しは気が楽になるのではないかと述べています。また、落ち込んでしまった時の対処法、自分の心のケアの方法を見つけておけば、脳も元気になる、前向きになれるはずです。具体的には、落ち込んだときに相談するといつも共感してくれる人、もしくはそこに行けばリラックスできる、いつも前向きになれるという場所を見つけておくとういでしょう、と述べています。

被害にあって、いじめが繰り返さないようにもがけていこう。

<資料>

#### 真っすぐな少年は大リーグに

主編 ●●●● (田中 浩 ●●●●)

息子は小学生の頃、おもしろい、クラスのいじられキャラだったようで、本人もそれをたのしんでいた。ある日の休み時間、いつものように教室で友達数人とらざけていたら、いじりがエスカレートし、息子がもうつらいと思ったらしい。その時、「もうええやろ、やめたれや」と言って、家が近くて仲の良い友達が止めてくれた。体が大きくなり、野球をしているその子は、嬉々ムードの教室から「行くぞ」と息子を連れ去ってくれた。

「ありがとう」と息子が言うと、「えっ、なんで？」と言って笑っただらしい。その後、私も後に「あの時はありがとだね」と言ったが、恥ずかしそうに笑った。彼のお母さんにもお礼を言ったら「そんなことがあったんですか。きっと息子はそれが正しいと思っただらしょうね」と笑った。

そんな場面で育られたから、真っすぐな少年やなと感心した。今でも感謝している彼は田中君大君。大リーグ・ヤンキースの投手として一歩を踏み出した。

朝日新聞「声」 2014.2.25

### 消毒清掃員が 配置されました

市から今年度も「清掃消毒員」を配置いただきました。6/1～12/24の授業日に1日2時間の作業を行っていただきます。



子どもたちの活動の様子をホームページ(西中ブログ)でお知らせしています。ご覧ください。